

第5回

総合診療医認定講座

開催のご案内

良質な慢性期医療がなければ日本の医療は成り立たない

日本の少子高齢化はこれからも進むことが推計され、2025年には、高齢者人口のピークを迎えます。この人口構成の変化に対応するために、日本の医療・介護の提供体制は、患者・利用者、地域社会を主体としたシステムに大きく舵が切られました。

高齢者人口の増加が医療において意味するところは、急性期と慢性期の比率が逆転し、慢性期医療の重要性と必要性がより大きくなることです。慢性期医療の分野では、高度急性期医療からの引継ぎはもちろんのこと、本講座で履修していただくような幅広い知識と診療技術が求められています。

また、その対象は、高齢者に限らず、小児を含めた障害者、難病患者なども含むすべての年齢層に及ぶことから、医師は、それぞれの専門領域のほかに、老年医学を含む様々な医学的知識を習得していかなければなりません。

そして慢性期医療が提供される場は、病院、在宅、介護保険施設、居住系施設など、地域全体が範囲です。医師には、総合的な診療能力の他に、薬剤師、看護師、介護福祉士、リハビリ療法士、管理栄養士等の医療チームをまとめていく能力も求められるでしょう。

本講座では、地域医療のエキスパートとなる「総合診療医」を養成いたします。

プログラムには、慢性期医療に必要な疾患の知識、制度の理解、チーム医療実践のポイントなどを24の講義に盛り込んでおります。そして、今回の講座より、9時間の症例検討（ワークショップ）を加え、現場で総合診療医としての力をすぐに発揮できるよう、さらにグレードアップした内容に組み立てました。慢性期医療に携わる医師はもちろんのこと、急性期医療から慢性期に引き継ぐ先生方にも必要とされる知識を得ることができる講座です。

なお、本講座は、当然のことながら「総合評価加算」の対象研修に指定されておりますので奮ってご参加ください。



開催概要

認定証授与について

*全6日・講義および症例検討のすべての科目を履修された方には、日本慢性期医療協会より総合診療医認定講座修了の「認定証」を授与いたします。
*本認定講座は「慢性期医療認定病院」の更新要件として、1人あたり15単位が加算されます。

総合評価加算について

*本認定講座は、「総合評価加算」(医師)に関する施設基準の研修に該当いたします。

【総合評価加算】 A240 総合評価加算(入院中1回) 100点

施設基準(概略)

- (1) 介護保険法施行令第2条各号に規定する疾病を有する40~65歳の者又は65歳以上の者の総合的な機能評価を適切に実施できる保険医療機関であること。
- (2) 当該保険医療機関内に、**高齢者の総合的な機能評価に係る研修**を受けた医師又は歯科医師が1名以上配置されていること。
- (3) 総合的な機能評価を行うにつき十分な体制が整備されていること。

講義日程 (全6日) ※オリエンテーション 等を含む

PART I	平成30年11月17日(土) 12:50~21:10
	平成30年11月18日(日) 9:00~15:50
PART II	平成30年12月 8日(土) 12:50~21:10
	平成30年12月 9日(日) 9:00~15:50
PART III	平成31年 1月26日(土) 12:50~21:10
	平成31年 1月27日(日) 9:00~16:00

会場

東京研修センター
東京都新宿区富久町11-5 シャトレ市ヶ谷2階 <http://tky-kensyu.jp/>
東京メトロ丸ノ内線「新宿御苑前駅」2番出口から徒歩10分

定員

医師 計60名

参加費

○日本慢性期医療協会会員施設に勤務する者 / 90,000円
○上記以外 / 120,000円
※参加費には土曜日3回分のご夕食と日曜日3回分のご昼食の弁当代を含みます。
※参加費には「総合診療医テキスト」(中央法規出版)代を含みます。

参加申込方法

申込用紙に必要事項をご記入の上、FAXにてお申し込み下さい。
FAX.03-3355-3122 (日本慢性期医療協会事務局)

申込締切日

平成30年10月15日(月)

参加者へのご案内

10月下旬頃に連絡担当者様宛に「受講票」と参加費請求書をお送りいたします。

キャンセルについて

10月15日(月)以降のキャンセルについては参加費の返金はいたしかねますのでご注意ください。

講義上の注意

*各開講日とも受付にて本人確認をいたします。
*認定証の授与は、全講義および症例検討への参加を確認できた方に、後日郵送いたします。
*各開講日ごとに理由の如何を問わず遅刻、早退、または中抜けをされた場合は、認定証の発行をいたしかねますのでご了承下さい。

宿泊・交通について

交通機関・ご宿泊の手配は、各自にてお願いいたします。

企画

日本慢性期医療協会 総合診療医認定講座委員会 (委員長 西尾俊治)

主催

日本慢性期医療協会
〒162-0067 東京都新宿区富久町11-5 シャトレ市ヶ谷2階
TEL.03-3355-3120 FAX.03-3355-3122
E-mail info@jamcf.jp URL <http://jamcf.jp/> <http://manseiki.net> <http://manseiki.com>

プログラム

		講義内容(全24単位)	講師	所属
PART I				
	12:50-13:00	開講式		
11月17日(土)	13:00-14:10	総合診療医に必要な認知症の診断と治療	熊谷頼佳	京浜病院 院長
	14:20-15:30	総合診療医に必要な薬物療法と服薬管理	秋下雅弘	東京大学大学院医学系研究科加齢医学 教授
	15:40-16:50	総合診療医に必要な皮膚疾患の管理	木下祐介	光風園病院 院長
	17:00-18:10	総合診療医に必要なアドバンス・ケア・プランニング(ACP)と終末期医療	木澤義之	神戸大学医学部附属病院 緩和支援診療科 特命教授
	19:00-20:00	症例検討(認知症の診断と治療)	熊谷頼佳	京浜病院 院長
	20:10-21:10	症例検討(認知症のケア)	田中志子	内田病院 理事長
11月18日(日)	9:00-10:10	在宅最前線の高齢者ケア	秋山正子	ケアーズ白十字訪問看護ステーション 代表取締役
	10:20-11:30	総合診療医に必要な高齢者救急への対応	小豆畑丈夫	小豆畑病院 院長
	11:40-12:50	総合診療医に必要なリハビリテーションの知識	橋本康子	千里リハビリテーション病院 理事長
	13:30-14:40	総合診療医とは	武久洋三	日本慢性期医療協会 会長 博愛記念病院 理事長
	14:50-15:50	症例検討(緩和ケア)	照沼秀也	いばらき診療所 理事長
PART II				
12月8日(土)	13:00-14:10	高齢者医療における臨床指標と総合機能評価	矢野諭	多摩川病院 理事長
	14:20-15:30	総合診療医に必要な感染症の管理 ～呼吸器・肺炎～	大路剛	神戸大学医学部感染症内科 准教授
	15:40-16:50	総合診療医に必要な腎・泌尿器疾患の管理	西尾俊治	南高井病院 院長
	17:00-18:10	総合診療医に求められる認知症の知識	伊藤弘人	独立行政法人 労働者健康安全機構労働安全 衛生総合研究所 過労死等調査研究センター長
	19:00-20:00	症例検討(排泄管理)	西尾俊治	南高井病院 院長
12月9日(日)	9:00-10:10	総合診療医に必要な口腔管理と チームアプローチ	阪口英夫	陵北病院 副院長
	10:20-11:30	総合診療医に求められる脳血管疾患の管理	木下牧子	光風園病院 副理事長
	11:40-12:50	地域包括ケアにおけるリハビリテーションの実際	栗原正紀	長崎リハビリテーション病院 理事長
	13:30-14:40	フレイルの考え方とケア	鳥羽研二	国立長寿医療研究センター 理事長
	14:50-15:50	症例検討(リハビリテーション、在宅復帰支援)	木戸保秀	松山リハビリテーション病院 院長
PART III				
1月26日(土)	13:00-14:10	地域医療構想&地域包括ケアにおける 慢性期医療・介護の展望	池端幸彦	池端病院 理事長
	14:20-15:30	総合診療医に必要な栄養管理	若林秀隆	横浜市立大学附属市民総合医療センター リハビリテーション科 医師
	15:40-16:50	病院における在宅支援の役割と 地域包括ケア病棟の実際	仲井培雄	地域包括ケア病棟協会 会長 芳珠記念病院 理事長
	17:00-18:10	在宅最前線の小児ケア	高橋昭彦	ひばりクリニック 院長
	19:00-20:00	症例検討(ポリファーマシー)	仲井培雄	芳珠記念病院 理事長
	20:10-21:10	症例検討(循環器疾患)	中尾一久	高良台リハビリテーション病院 理事長
1月27日(日)	9:00-10:10	高齢者医療の診療のポイント	井川誠一郎	平成医療福祉グループ 診療本部長
	10:20-11:30	在宅療養支援診療所の実際	長尾和宏	長尾クリニック 院長
	11:40-12:50	総合診療医に必要な神経難病の管理	美原盤	美原記念病院 院長
	13:30-14:40	日本の医療提供体制の今後の方向性	小山秀夫	兵庫県立大学大学院経営研究科 名誉教授
	14:50-15:50	症例検討(低栄養、NST、脱水)	井川誠一郎	平成医療福祉グループ 診療本部長
	15:50	修了式		